

## 令和6年度 横須賀高校（定時制）不祥事ゼロプログラムの検証等

### ○ 課題・目標別実施結果

課題	目標	実施結果と目標の達成状況
法令順守意識の向上	服務規律を再確認し、公務外非行を防止する。	定時制のため、全日制とは異なる服務上の扱いがあり、勤務時間や割振り変更など、服務規律を確認しながら実施した。
わいせつ・セクハラ行為の防止	人権を意識した生徒への適切な接し方や職員間のハラスメント未然防止	セクハラアンケートの結果や職員の綱紀保持などが出されたタイミング、行政課からの啓発資料などを活用し、意識付けを行った。
体罰・不適切な指導の防止	生徒の人権尊重、言葉による暴力など、身体面、精神面での不適切な指導を防止	生徒への対応で気づいた点を職員同士でも注意しあえるよう心掛けた。生徒対応の際に職員が少ないながら常に複数対応を行えるよう努めた。
入学者選抜、成績処理、進路関係書類の作成や取扱に係る事故防止	入学者選抜、証明書等の作成に係る事故をゼロにすることを目指す。	マニュアルに基づく作業において、課題を見出した場合それを改善するようにした。また、複数で確認するなど、作業手順を常に確認するなど基本的な防止対策を徹底した。
行政文書の取扱、個人情報の管理、情報セキュリティの対策	職員全員が行政文書や個人情報の適切な取り扱いができるようにする	年度当初の事務引継ぎや文書整理などの時期に合わせ、ファイル基準票の確認をする。また、基本的には、個人情報を持ち出さないこと、持ち出すときの手続きの徹底を図り、適正に行われた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故未然防止、法令遵守の意識を徹底する	行政課作成の啓発資料を活用し、交通事故防止における諸事項の再確認を行った。 飲酒が運転に及ぼす影響について、自己のアルコール処理能力を計算するなど、身をもってできた。
会計事務の適正執行	私費会計の執行事務を適正に行う。	財務事務調査において指摘事項が改善されていることを認められた。今後も、生徒の学校生活に還元できるよう適正な執行管理を継続していく。

### ○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

不祥事ゼロプログラムに基づき、職員会議後に不祥事防止研修会を行うとともに、打合せ等でその時々に必要なテーマで確実な不祥事防止の啓発を行った。また、関連通知などを職員に示し、情報共有を行い、日常的に事故不祥事防止に取り組むとともに、業務遂行の場面ごとに様々な状況を想定し、職員の指導にあたり、どのような場面でも事故不祥事を起こさないという緊張感の下、学校運営を進めた。定時制は職員数が少なく、それぞれの業務内容を把握し、お互いに協力しあい取り組んでいる。この利点を生かし、何事にも全職員で連携をとりながら取り組み、気になることはすぐに声を掛け合うという職場環境を徹底し、不祥事をゼロにすることができている。今後も事故不祥事を防止する体制を継続し、常に職員全体で不祥事防止にあたる環境を意識し、学校全体として不祥事防止の徹底を強化していきたい。